

我が社における自主保安活動シリーズ

(第13回)

高圧ガス保安経済産業大臣・高圧ガス保安協会会長表彰を受賞された組織（優良製造所および優良販売業者）は、長年にわたる保安啓発と自主的な保安活動への取組みを積極的に行っております。

そこで、受賞を契機に高圧ガス災害の防止など自主保安の維持向上に努めている活動を執筆していただきました。

高圧ガスの製造所および販売事業所で保安に関わる方々には大いに参考になるものと期待しています。2019年1月号（Vol. 56 No. 1）から連載を開始し、1月号では、優良製造所として、株式会社トーエル 室越義和様、優良販売業者として、株式会社北国産業 西野稔彦様に自社の保安に対する考え方および今後の抱負などについてご紹介していただきました。

我が社における自主保安活動シリーズの掲載号

- 第1回 我が社の保安安全活動（優良製造所編） ㈱サイサンガステクノ 横山義巳 Vol.56 No.1
- 第1回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） ㈱サンワ 田部井普 Vol.56 No.1
- 第2回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） 上毛天然瓦斯工業㈱ 平石 誠 Vol.56 No.2
- 第2回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 紀伊国屋高圧㈱ 若林比呂之 Vol.56 No.2
- 第3回 保安レベルの維持向上への取組みについて（優良製造所編） ㈱クレハ 小野佐市 Vol.56 No.3
- 第3回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） ㈱須山液化ガス 須山光男 Vol.56 No.3
- 第4回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） 雪印メグミルク㈱ 田中秀和 Vol.56 No.4
- 第4回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） 十文字ガス㈱ 小関史郎 Vol.56 No.4
- 第5回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） ㈱ネリキ 新柁裕之 Vol.56 No.5
- 第5回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） ㈱西條プロパン 辻田 隆 Vol.56 No.5
- 第6回 高圧ガス容器製造事業所における自主保安活動の取組み（優良製造所編） ㈱関東高圧容器製作所 瀧澤史朗 Vol.56 No.6
- 第6回 我が社における保安活動（優良販売業者編） 昭和電工ガスプロダクツ㈱ 岡崎 徹 Vol.56 No.6
- 第7回 我が社における災害への取組み（優良製造所編） 江藤酸素㈱ 日下明宏 Vol.56 No.7
- 第7回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） ㈱星医療酸器 鈴木省悟 Vol.56 No.7
- 第8回 我が社における自主保安活動（優良製造所編） ㈱加地テック 上田伊佐三 Vol.56 No.8
- 第8回 我が社における保安活動（優良販売業者編） ㈱巴商会 小澤 正 Vol.56 No.8
- 第9回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編） 九州エア・ウォーター㈱ 東 成政 Vol.56 No.9
- 第9回 我が社における自主保安活動（優良販売業者編） 東海溶材㈱ 松下勝実 Vol.56 No.9
- 第10回 我が社における自主保安活動（優良製造所編）—保安レベルの維持向上への取組み—
近畿酸素㈱ 前川俊也 Vol.56 No.10
- 第10回 我が社における自主保安活動（優良販売業者編） 岩谷産業㈱ 飯田 宏 Vol.56 No.10
- 第11回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） サントリープロダクツ㈱ 成田光臣 Vol.56 No.11
- 第11回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 富士瓦斯㈱ 津田維一 Vol.56 No.11
- 第12回 我が社における自主保安活動（優良製造所編） 理研計器㈱ 友松一誠 Vol.56 No.12
- 第12回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 松江ガス供給㈱ 曾田 悟 Vol.56 No.12

保安レベルの維持向上への取組み(優良製造所編)



株式会社トーエル LPG 保安本部 本部長・専務取締役

室越 義和

1 会社概要

1963年、(株)トーエルは、創業者の稲永修が「火」・「水」・「空気」に携わる生活に密着したライフライン事業との考えから「火＝LPガス」事業をスタートさせた。

「空気」はこれからの事業として、今は、環境の急激な変化（地球環境・海洋汚染の悪化）に対応するため、水・植物工場・新エネルギー等を中心に新規事業を進めている。

トーエルは、創業以来、生活に密着したライフライン事業者として、常に非常事態に備え、対策を講じてリスク管理を行い、安定供給を行うことを常に考えている。

公的機関、団体等における保安関係の委員会、講習会、防災訓練等へも積極的に参加し、



厚木工場外観（受入中16tタンクローリ）

保安行政の情報・知識の取得に力を入れている。また講師等の派遣も行っている。

厚木工場では1974年より高圧ガスの製造に携わり、長年にわたって保安の確保に努め、地域に密着したライフライン事業者として事業活動を行ってきた。

2014年、トーエル厚木工場（LPガス充填工場）は、経済産業省より「災害時対応中核充填所」に指定された。従来のLPガス自家発電設備をリニューアルし、新たに衛星通信設備の配備を行うなど、充填工場としての機能をさらに強化、災害発生時には電力が停止しても自家発電によるLPガス充填が可能、衛星電話による緊急連絡体制と現在保有しているLPガスオートスタンド及びLPガス配送車を活用することにより、お客様へ安定したLPガス供給が行えるようになった。

また、2016年、厚木工場のLPガス容器再検査工場をリニューアルした。8～50キロシリンダー容器の再検査に全自動の非水套検査機を導入、コンピュータで制御し、検査能力が向上した。

- 非水套式自動耐圧試験装置（2重連・2ライン方式）
- 検査範囲：LPG10k～50k容器（センターバルブのもの）
- その他、10k未満容器、フォークリフ



第三工場（容器検査場）

ト容器，60 k 容器，自動車容器（タクシー），500 k 容器などの特殊容器に関しても対応。

- 処理能力：2 万本 / 月間
- 塗装工程：塗装工程では，ショットブラストや焼き付け塗装システムを導入し，美しく仕上げる。
- マーキング：全自動マーキング機により，綺麗な仕上がりとなる。

2017 年 12 月にはバルク貯槽 20 年告示検査に対応するため，敷地内にバルク屑化処理工場を新設し，廃棄バルク貯槽の受け入れを行っている。水置換方式を採用し，廃水も高温燃焼させるため，産業廃棄物を出さない環境面を配慮した施設となっている。

2 厚木工場概要

- 敷地面積：7,000 坪（内バルク用 1,000 坪）
- LP ガス充填：月間 3,000 t
- 容器検査：月間 17,000 本
- 飲料水備蓄：常時 35,000 本
- 社員グループ全体：約 1,200 名（厚木工場（営業所）：150 名）
- 発電機：合計 177 kW（LPG 発電機 4 台，事務所上太陽光発電）

- シリンダー充填可能新瓶本数：5,000 本
- 充填工場：12 連の回転充填機を使用し充填，20 t プロパン貯槽 3 基・20 t ブタン貯槽 1 基・残ガス回収用 2.9 t 貯槽 2 基
シリンダー容器・500 k 容器・フォークリフト容器等の充填とバルクローリ払い出しオートガスディスペンサー・残ガス回収用転倒台
- グリーンファーム（イチゴ）：2011 年よりアグリ事業としてイチゴの栽培・出荷を行う。高級イチゴの栽培，販売にも力を入れている。

3 表彰履歴

- 2011 年 神奈川県高圧ガス防災協議会会長表彰（優良防災事業所）
- 2013 年 関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰（優良防災事業所）
- 2018 年 高圧ガス保安経済産業大臣表彰（優良製造所）

4 保安に対する考え方

危害予防規定，日常点検，月例点検，設備台帳の整備の他，製造設備保安整備カレンダーを整備し，設備の維持管理を確実にしている。また，耐震性向上への取組みとして高圧配管にフレキシブルホースを 17 カ所挿入し，安全と保安の向上を図っている。また，バルク貯槽 20 年検査のピーク時における残ガス改修を考慮し，施設の改善，保安対策を施し，安全にバルク貯槽を受け入れる体制を整えている。

(1) 公的機関，保安団体等における保安関係の委員会，講習会，研究会等への積極的な参加

- 中核充填所委員会(神奈川県 LP ガス協会・中核充填所委員会)
- 自主保安事業所交流会(神奈川県安全防災局安全防災部工業保安課・神奈川県各地域県政総合センター環境部・神奈川県高圧ガス保安協会)
- 高圧ガス消防実習(海上災害防止センター) 油貯蔵タンク，ガス貯蔵タンク等の危険物施設における火災への基本的消火方法及びガス漏えいへの基本的漏えい防止方法について，自実習を通して体験する
- リスクアセスメント勉強会(日本 LP ガス団体協議会)
- 関東液化ガス協議会 業務主任者講習の講師として講師を派遣

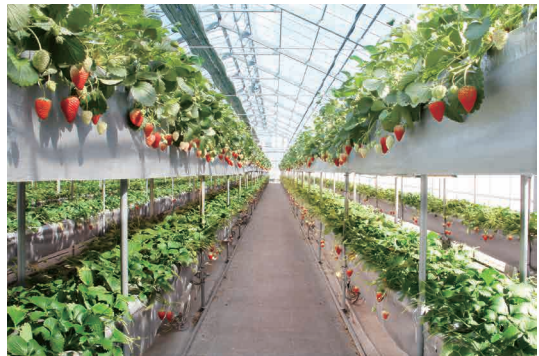


写真 稼動訓練

- 日本コミュニティガス協会
総合講習会
- 中核充填所等稼働訓練（神奈川県 LP ガス協会・中核充填所委員会）
災害時に連携して被災状況等の把握や LP ガスの応急供給を行えるよう訓練を行う
- 保安検査のポイントと事例紹介セミナー（高圧ガス保安協会）（参加者 2 名）
- 液化石油ガス販売セミナー（神奈川県 LP ガス協会）
- 中核充填所情報伝達訓練（神奈川県 LP ガス協会・中核充填所委員会）
災害時を想定して各中核充填所・都道府県協会・特定石油ガス輸入事業者・石油ガス販売事業者・全国 LP ガス協会日本 LP ガス協会・石油流通課の間で、電子メール・衛星携帯電話等を活用して情報の共有。収集を目的に実施

(2) 災害時等における高圧ガス保安行政への協力状況

- 神奈川県高圧ガス防災協議会の防災事業所として行政、消防、警察、関係諸団体と連携し取組んでいる。
- 横浜市港北区、都築区、青葉区、緑区と災害時防災協定を結ぶ（災害発生時、各区の防災拠点に水、ガス、物資の供給を行う）。
- 神奈川県 LP ガス協会、LP ガス 119 の受理センターとして神奈川県内の消防からの通報を受理し LP ガス協会の各支部に出動の手配。

5 今後の抱負

近年、「想定外」とされる自然災害が各地で発生している。これなら大丈夫という考え方は通用しない。現状に満足せず、さらなる保安の向上、安定供給確保のための施策を講じていく。

室越義和（むろこし よしかず）